

# 令和4年度 船橋市立前原中学校の教育

## 経営方針（前原スタイル）

生徒・教職員の明るくさわやかな挨拶、安心して自己を発揮でき、家庭・地域に信頼される学校づくりを推進する。また、学校・家庭・地域・関係諸機関がチームになり、生徒・教職員の成長に関わることのできる学校を目指す。

キーワード「希望の登校、満足の下校」

## 1 教育目標

### 「調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」

- (1) 「確かな学力」自ら学んでいく生徒を育成する
- (2) 「豊かな心」他者を思いやる生徒を育成する
- (3) 「健やかな体」健康で活力のある生徒を育成する

## 2 目指す学校像

- (1) 生徒・保護者・地域から信頼される学校
- (2) 挨拶の音が響き渡る学校
- (3) 四つの「セイ」のある学校 《 清潔・正義・誠意・静寂 》

## 3 目指す教師像 《信頼される教師》

- (1) 率先垂範ができる教師
  - ・時を守る（時間・提出物）
  - ・場を浄める（生徒と共に清掃・教師としての誇り）
  - ・礼を正す（率先挨拶・身だしなみ）
- (2) 凡事徹底ができる教師
  - ・当たり前のことが、当たり前に出来る学校をつくる（継続は力なり）
- (3) 自らの資質向上を目指す教師
  - ・新学習指導要領における評価方法の理解（学ぶ意欲の向上）
- (4) すべての生徒に関わり続けることのできる教師
  - ・特に不登校・配慮を要する生徒については、保護者とも関係づくりを心がける

## 4 目指す生徒像

### 「自律」志を持ち、歩む生徒

#### ○ 自ら掲げた目標の実現に向けて、努力する生徒

#### 生徒の自治活動推進・委員会活動の活性化

- ・一生懸命に取り組む姿
- ・新たなことに積極的に挑戦する心
- ・お互いを思いやる人間関係づくり

#### ☆本年度の重点目標

◇お互いを認め合い、より良い人間関係を作ることのできる生徒の育成

- ・人の痛みのわかる思いやりの心
- ・自他の命を大切に思う、する。

◇「時を守り 場を浄め 礼を正す」ことのできる生徒の育成

- 日常の五心（素直な心・反省の心・奉仕の心・謙虚な心・感謝の心）の充実  
・「場に応じた、あいさつ ができる。」

## 5 教職員の基本姿勢

☆ホウ・レン・ソウ・**カク**（報告・連絡・相談・**確認**）の徹底により、組織が機能する  
校内体制を全職員で確立する

☆教師としての力量を高めると共に、信頼される教師を目指す→目指す教師像

☆家庭・地域への広報活動を進めながら学校への協力も働きかけ、家庭・地域と共に  
より良い学校づくりを推進する

☆生徒が好きになる学校、誇れる学校づくりを生徒と共に取り組む（前中ブランド）

☆モラールアップに全員で取り組み、不祥事を起こさない・起こさせない体制を築く

☆問題行動や注意すべき事が発生時は、迅速に組織で対応する

（情報の共有化・指導の系統化・指導体制の充実）

☆生徒の心に“やる気”の灯りを点す指導を心がける

・即、認める ・個の努力を探して認める ・期待に添って認める ・明るく認める

## 6 具体的努力目標

### 【学力向上】

○生徒指導の機能を生かしたわかる授業づくり

《全ての生徒に『出番・居場所』を与える授業の工夫》 教師主導型授業からの脱却

・自己決定の場を与える授業：自ら課題を見つけそれを追究し、自ら考え、判断し、表現する授業

・自己存在感を与える授業：生徒一人一人に学ぶ楽しさや成就感を味わわせることができる授業

・共感的人間関係を育む授業：お互いに認め合い、学び合うことができる授業

○学びの場にふさわしい学習・教室環境の整備

○生徒の実態を把握し、系統立てた授業規律の確立（4・5月）

### 【人格形成】

○「私たちの目標」の意識化と指導の徹底

・さわやかな挨拶をしよう ・時間を守ろう

・服装を整えよう ・**隅々まで清掃をやろう**

○道徳の時間を中核に、心の教育の充実を図る

○部活動の充実（重要な人間形成の場として捉え、全教員が顧問となり活動の充実を図る）

○学校不適応・特別な支援を必要とする生徒に対する組織的な校内支援体制の充実、関係機関やスクールカウンセラーとの積極的な連携

### 【組織力向上】

○何事も一人に負担・責任をおわせず、組織（チーム）でことにあたる

○若年層教員の育成

相互のスキル向上と

○ベテラン層の指導力の更なる向上

文化の伝承を図る

### 【学校理解】

○保護者・地域との連携、誠実な対応

○学校公開、学校だよりや学年だよりの発行、ホームページの更新、配信メールの導入等による積極的な情報発信を行い、説明責任を果たす 開かれた学校へ

○学校評価（保護者、地域、教職員、生徒）の有効活用